

# 中小企業景況調査報告書

2023年度第2・四半期（7～9月）



## 目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表(97社)	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表(業種別上位3位)	7
「直面している経営上の問題点」の集計表(各業種)	8~10
前年同期比のグラフ(各項目)	11~14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所



# 調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施  
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 97事業所
- V. 調査対象企業  
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（97）の内訳

業 種	事業所数
建設業	12
製造業	29
卸売業	10
小売業	17
サービス業	29
合 計	97

- VI. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- |   |         |
|---|---------|
| 〔 | 1位3ポイント |
|   | 2位2ポイント |
|   | 3位1ポイント |
- 〕

# 今 期 の 概 況

## 業況は横ばいも、採算ベースの改善など 景況感は緩やかに持ち直しの動き

### 1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、売上、採算、資金繰り、従業員のDI値で前期実績を上回り、業況のDI値で前期実績を下回った。

来期は、業況、採算のDI値で今期実績を上回り、資金繰りのDI値で横ばい、売上、従業員のDI値で今期実績を下回る見通し。

#### 指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲11.1から▲11.3(0.2ポイント減)となり、来期は▲10.3(1.0ポイント増)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績10.1から11.3(1.2ポイント増)となり、来期は5.2(6.1ポイント減)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲27.3から▲22.7(4.6ポイント増)となり、来期は▲17.5(5.2ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲15.2から▲10.3(4.9ポイント増)となり、来期は▲10.3(横ばい)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績1.0から9.3(8.3ポイント増)となり、来期は8.2(1.1ポイント減)となる見通し。

### 2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、資金繰りのDI値で前期実績を上回り、業況、売上のDI値で前期実績を下回った。

#### 指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲10.1から▲13.4(3.3ポイント減)となった。
- 売上DI値は、前期実績14.1から▲8.2(22.3ポイント減)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲14.1から▲12.4(1.7ポイント増)となった。

### 3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(36件、25事業所)に比べ、件数、事業所数ともに減少している。

- ① 今期の実績(表3参照)は25件(20事業所)。その主な内訳は、『生産設備』6件、『付帯施設』5件、『車両・運搬具』4件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は30件(22事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』『O A 機器』各9件、『工場建物』4件、『車両・運搬具』3件となっている。

### 4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『仕入等単価の上昇』、『需要の停滞』、『人件費以外の経費の増加』を挙げている。

# 業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

## A社（繊維製造業〈織物製造〉）

引合いは予想以上にあり受注生産したいが、当社のみならず協力工場もキャパシティオーバーが発生しており受注を断っている。どこもコロナ禍で縮小したつけが今になって出ており、業界全体の体制を整えるのが急務である。

## B社（製造業〈菓子製造〉）

石油高に加え、円安による電気・ガス料金の高騰が経営状況を悪化させている。原材料高については価格転嫁が出来ているが、今後も更なる値上げを予定している。今後は、価格の高い商品開発を進めて売上拡大を図ることと生産性を上げる方策を早急に考える必要がある。

## C社（建設業〈屋根工事〉）

夏場以降、新築住宅や住宅リフォームの需要が減っている。業界の競争が激しくなり価格競争が繰り返されている。今後の展開として、BtoC・直接施主様との契約にシフトしていく必要がある。

## D社（卸売業〈食器卸売〉）

コロナが5類へと移行し、価格高騰も少しずつ落ち着き、取引先である飲食店やイベント関係業者からの受注が増えつつあるもコロナ以前には戻っていない。今後、運送業の2024年問題がどのように影響してくるのか懸念している。

## E社（小売業〈仏具小売〉）

冠婚葬祭の簡略化が進んでいる中で、何とか低い水準で持ちこたえている。将来を見据え新たな商品、サービス、事業展開を考えていかないと今後ますます厳しい状況になると感じている。

## F社（小売業〈調剤薬局〉）

コロナ禍による医療機関への受診抑制は収まった。一般業界のような原材料、物価高の影響はないものの供給不足が生じ、業務に支障が出ている。

## G社（サービス業〈美容院〉）

コロナが5類に移行して旅行など外出する機会が増えたこともあり客足が戻ってきた。60歳代後半以上の年金世代の顧客は細かく節約している傾向があるため、今後は若い世代の新規顧客を増やすためSNSの発信を強化していく。

# 景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R4. 7～9月	R4. 10～12月	R5. 1～3月	R5. 4～6月	今 期 R5. 7～9月	来期の見通し R5. 7～9月
業 況	▲13.3	▲ 4.0	▲ 5.0	▲11.1	▲11.3	▲10.3
売 上	0.0	12.0	16.0	10.1	11.3	5.2
採 算	▲42.9	▲25.0	▲27.0	▲27.3	▲22.7	▲17.5
資金繰り	▲17.3	▲21.0	▲15.0	▲15.2	▲10.3	▲10.3
従 業 員	▲13.3	▲12.0	▲ 9.0	1.0	9.3	8.2

## 業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	12	29	10	17	29	97	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	4 (2)	6 (3)	1 (1)	0 (0)	2 (3)	13 (9)	▲ 11.3  (▲10.3)
	不変	7 (10)	14 (20)	6 (7)	12 (14)	21 (18)	60 (69)	
	悪化	1 (0)	9 (6)	3 (2)	5 (3)	6 (8)	24 (19)	
売上	増加	7 (4)	9 (4)	5 (4)	6 (3)	12 (10)	39 (25)	11.3  (5.2)
	不変	3 (8)	11 (17)	0 (4)	6 (9)	10 (14)	30 (52)	
	減少	2 (0)	9 (8)	5 (2)	5 (5)	7 (5)	28 (20)	
採算	好転	3 (2)	6 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (2)	12 (10)	▲ 22.7  (▲17.5)
	不変	5 (9)	11 (16)	6 (7)	10 (11)	19 (17)	51 (60)	
	悪化	4 (1)	12 (9)	3 (2)	6 (5)	9 (10)	34 (27)	
資金繰り	好転	3 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	5 (5)	▲ 10.3  (▲10.3)
	不変	8 (10)	23 (22)	9 (9)	13 (14)	24 (22)	77 (77)	
	悪化	1 (0)	5 (6)	1 (1)	4 (3)	4 (5)	15 (15)	
従業員	増加	3 (3)	8 (5)	1 (1)	0 (0)	8 (7)	20 (16)	9.3  (8.2)
	不変	7 (9)	20 (24)	8 (8)	15 (15)	16 (17)	66 (73)	
	減少	2 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (2)	5 (5)	11 (8)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( ) 内は来期

## 新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	20	来期	計画している ※2	22
	(事業所数)	実施していない	77	(事業所数)	計画していない	75

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	5 件	2 件
2. 工場建物	3 件	4 件	6. O A 機器	3 件	9 件
3. 生産設備	6 件	9 件	7. 福利厚生施設	1 件	2 件
4. 車両・運搬具	4 件	3 件	8. その他	3 件	1 件
			合計	25 件	30 件

複数回答可

## 景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R4.7～9月	R4.10～12月	R5.1～3月	R5.4～6月	今 期 R5.7～9月
業 況	▲21.4	▲ 9.0	▲10.0	▲10.1	▲13.4
売 上	▲13.3	5.0	▲ 8.0	14.1	▲ 8.2
資金繰り	▲14.3	▲16.0	▲10.0	▲14.1	▲12.4

## 業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	12	29	10	17	29	97	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	3	2	1	0	3	9	▲ 13.4
	不 変	8	21	6	12	19	66	
	悪 化	1	6	3	5	7	22	
売 上	増 加	3	8	3	2	4	20	▲ 8.2
	不 変	6	15	3	8	17	49	
	減 少	3	6	4	7	8	28	
資 金 繰 り	好 転	2	1	0	1	2	6	▲ 12.4
	不 変	8	23	9	11	22	73	
	悪 化	2	5	1	5	5	18	



# 『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○材料価格の上昇	○従業員の確保難	○人件費の増加 ○請負単価の低下・ 上昇難
製造業	○原材料価格の上昇	○生産設備の不足・ 老朽化	○需要の停滞
卸売業	○仕入単価の上昇 ○需要の停滞	○人件費以外の 経費の増加	○小売業の進出による 競争の激化 ○販売単価の低下・ 上昇難 ○代金回収の悪化
小売業	○消費者ニーズの 変化への対応	○仕入単価の上昇	○人件費の増加 ○需要の停滞
サービス業	○材料等仕入単価の 上昇	○人件費以外の 経費の増加	○人件費の増加

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	24
材料の入手難	0
人件費の増加	6
材料費・人件費以外の経費の増加	2
請負単価の低下・上昇難	6
下請単価の上昇	4
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	14
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	3
官公需要の停滞	1
民間需要の停滞	4
その他	0
合 計	66

### 製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
製品ニーズの変化への対応	7
生産設備の不足・老朽化	26
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	38
原材料の不足	5
人件費の増加	19
原材料費・人件費以外の経費の増加	16
製品(加工)単価の低下・上昇難	14
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	8
需要の停滞	21
その他	0
合 計	170

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	7
販売単価の低下・上昇難	3
仕入単価の上昇	15
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	3
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	1
需要の停滞	15
その他	0
合 計	49

### 小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	2
同業者の進出	4
購買力の他地域への流出	2
消費者ニーズの変化への対応	17
店舗の狭隘・老朽化	8
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	2
人件費の増加	9
人件費以外の経費の増加	7
販売単価の低下・上昇難	6
仕入単価の上昇	16
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	3
需要の停滞	9
その他 (暑さ、新規顧客の確保)	6
合 計	94

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	6
新規参入業者の増加	5
利用者ニーズの変化への対応	14
店舗施設の狭隘・老朽化	11
人件費の増加	19
人件費以外の経費の増加	22
利用料金の低下・上昇難	10
材料等仕入単価の上昇	34
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	17
熟練技術者の確保難	6
需要の停滞	15
その他 (税金の支払い)	3
合 計	164

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント



図 2

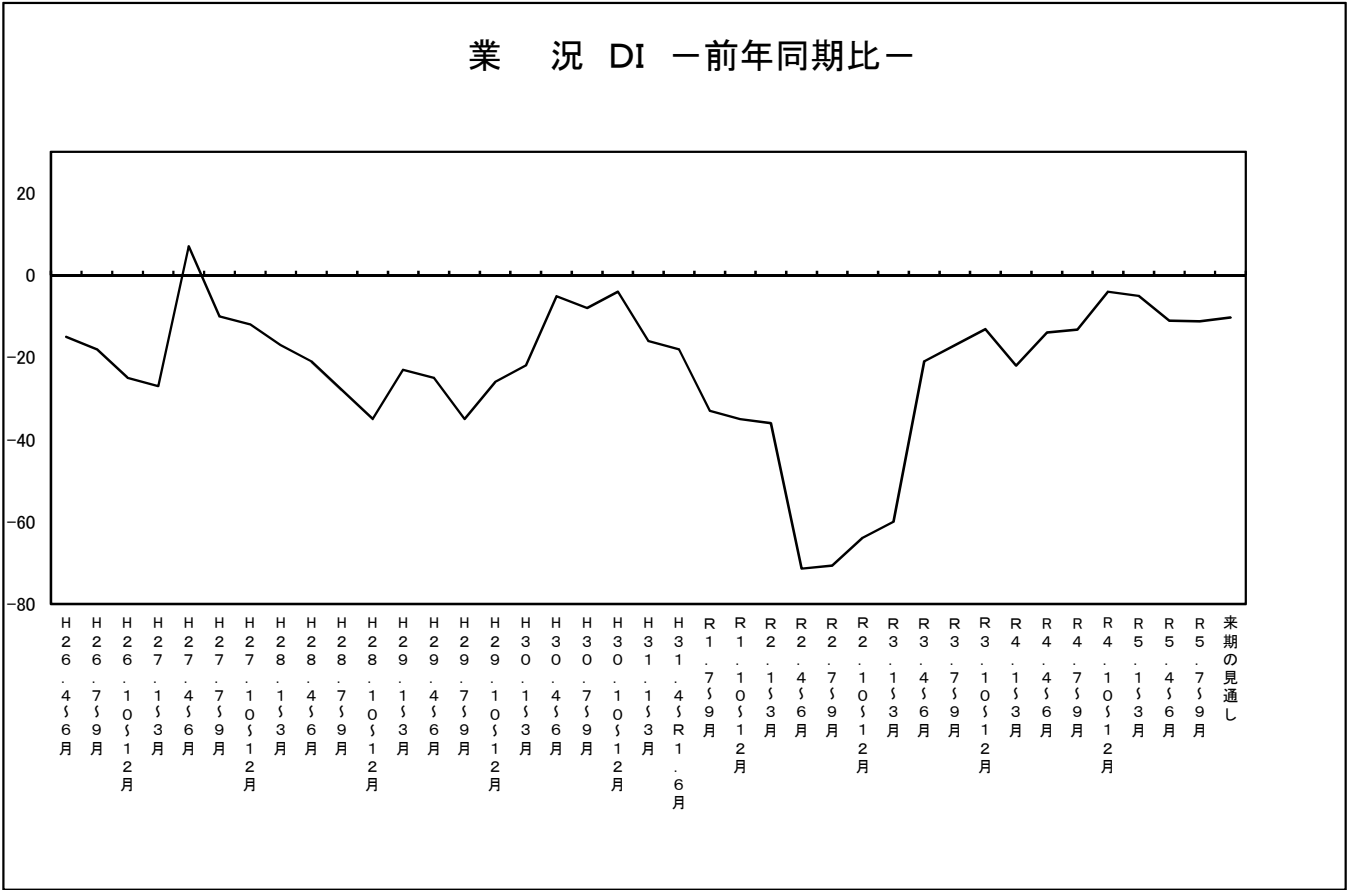


図 3

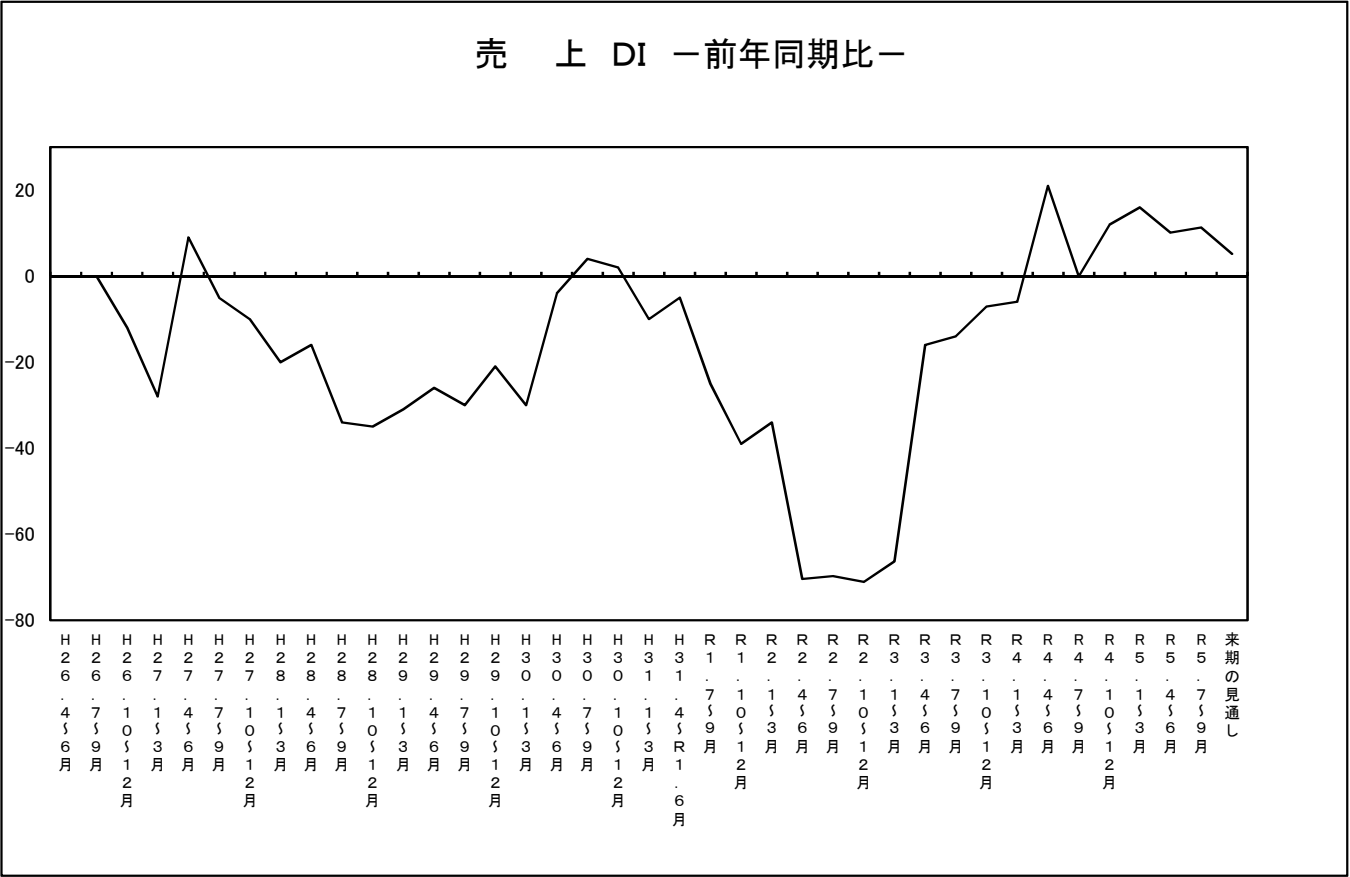


図 4

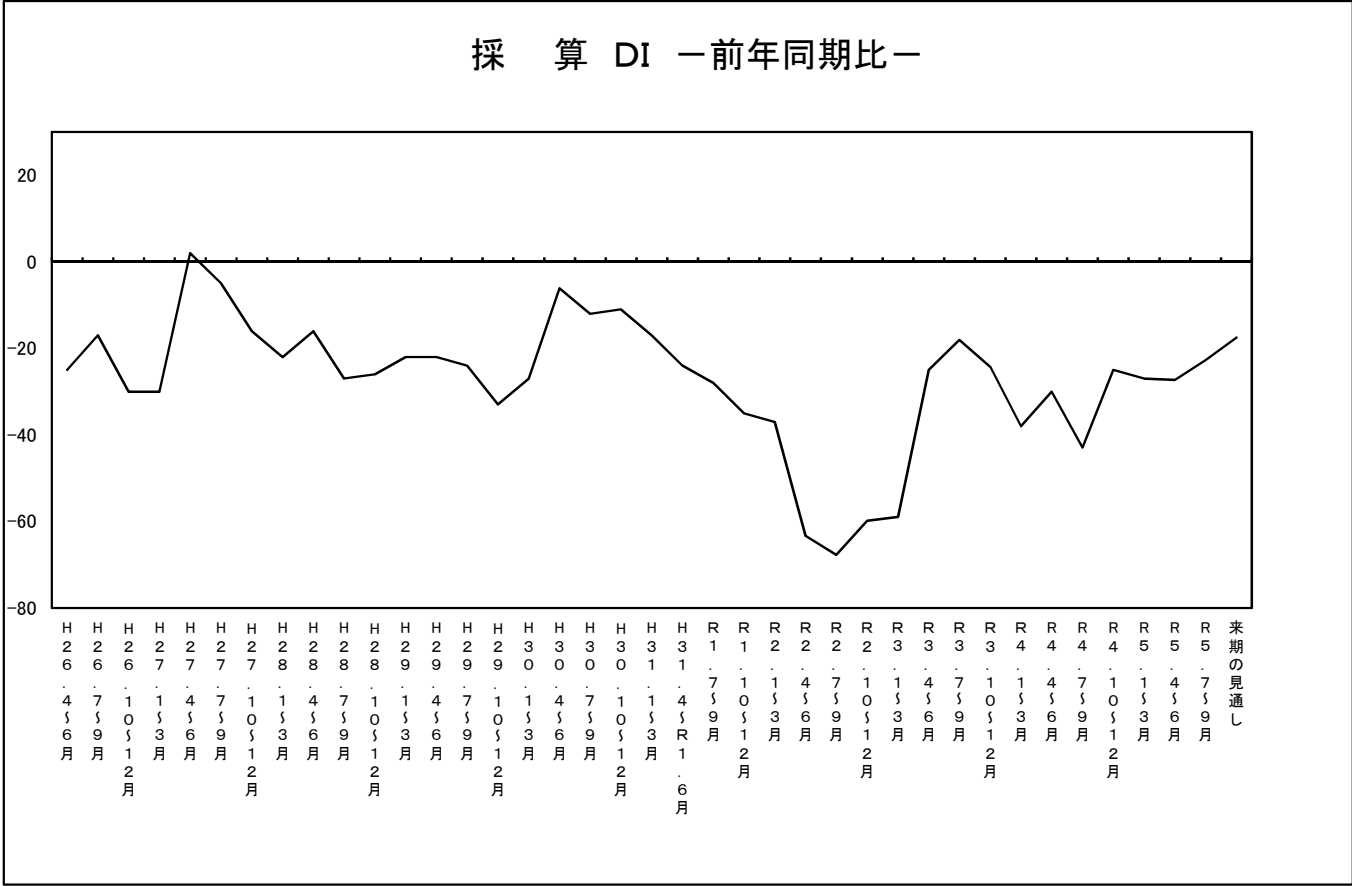
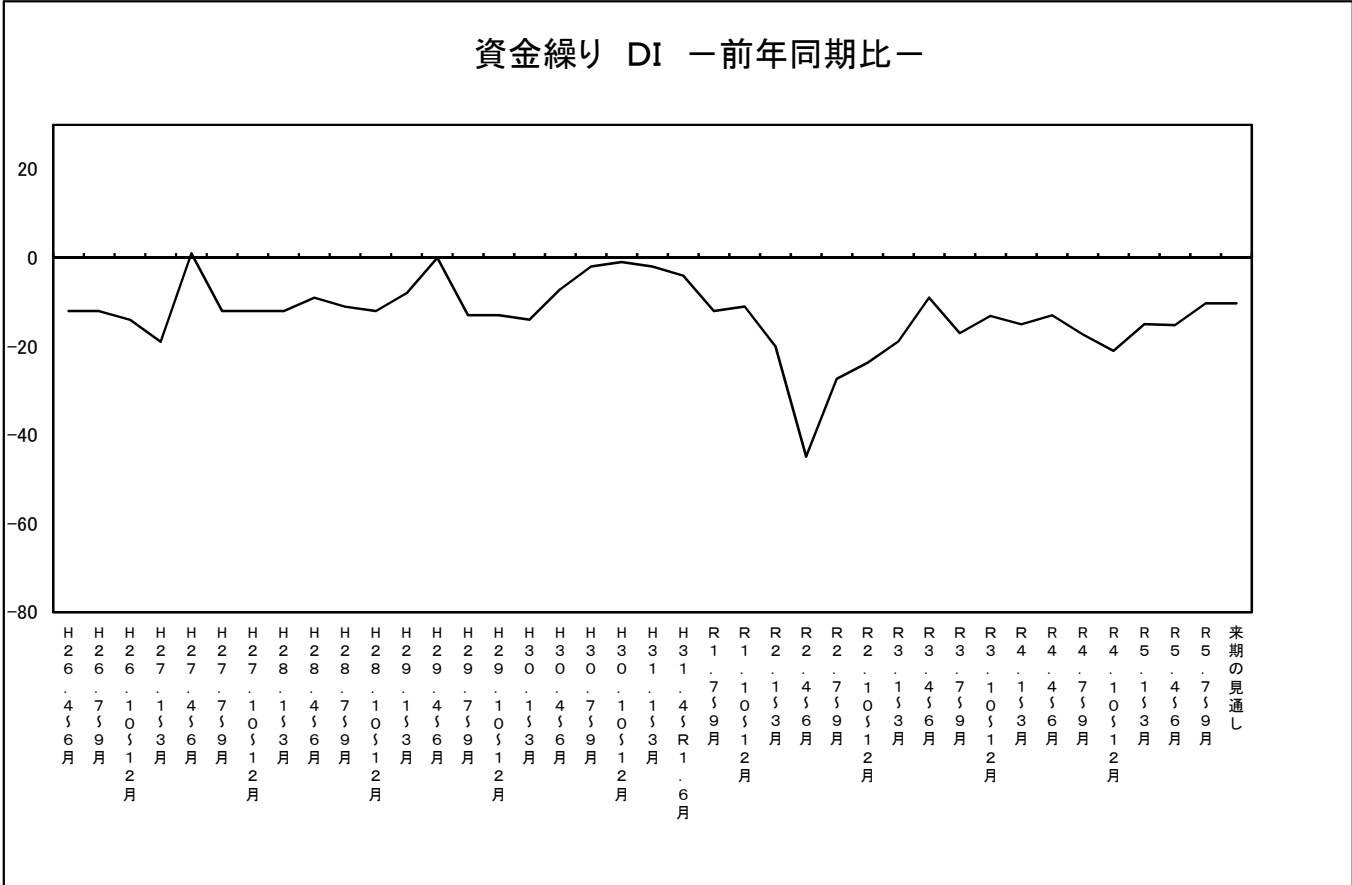
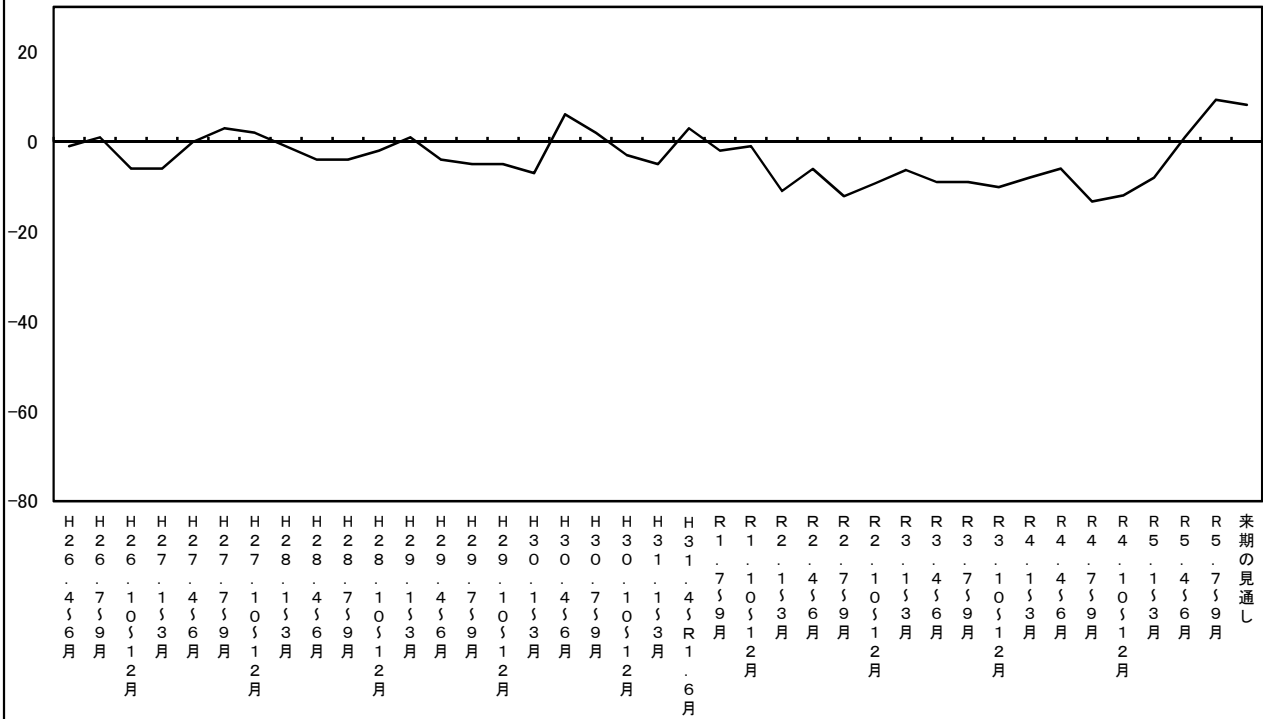


図 5



従業員 DI -前年同期比-









**一 宮 商 工 会 議 所**  
**中 小 企 業 相 談 所**

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail [soudan@ichinomiya-cci.or.jp](mailto:soudan@ichinomiya-cci.or.jp)